

## 2021年 第2号 ご挨拶

中国では春節が終わり、本格的に 2021 年がスタートしました。今回ご紹介する深圳における改革の実施法案では、大湾区（GBA）の建設、イノベーションの促進、資本市場改革の推進、デジタル経済の発展、さらなる対外開放といった分野での今後 5 年間の目標が掲げられており、深圳を「中国の特色ある社会主義先行モデル地区」として発展させていく中央政府の決意を示したものとなっています。デジタル人民元の実験的使用を含めた、多くのパイロットプログラムの実施による、いわゆる「走りながら修正して成長させる」方式がとられることになっています。このアジャイル環境での開発・発展が中国の成長を支える強みのひとつであり、中国速度を実現しています。

KPMG 中国 GJP 中国総代表 高部 一郎

### 1. 深圳における中国の特色ある社会主義先行モデル地区建設・大湾区(GBA)発展加速に向けた新たな改革

深圳経済特区設立 40 周年を機に、中国共産党中央委員会弁公庁と国務院弁公庁は、「深圳における中国の特色ある社会主義先行モデル地区建設の総合改革試験実施方案（2020～2025 年）」を公表し、主要分野の改革を実施するための自主権を拡大しました。計画の一環として、国家発展改革委員会は 2020 年～2025 年に実施する 27 項目の改革措置と最初の授権事項リストの 40 項目を公表しました。本レポートでは、改革の範囲と大湾区（GBA: グレーターベイエリア）の発展、資本市場、技術・イノベーション、中国のさらなる開放に与える潜在的な影響を概説します。

> [全文はこちら](#)（日本語）

### 2. 自動車業界 2020 年 振り返りと今後の展望

2020 年、自動車業界は COVID-19 により大打撃を被りつつも、自動車が誕生して以来の大変革、すなわち CASE（Connected:コネクティッド、Autonomous:自動化、Sharing/Shared:シェアリング/シェアード、Electrification:電動化）対応という自動車業界の大きな潮流は着実に前進しています。コネクティッドでは、自動車のソフトウェアの重要性が増すなか、自動車内外から生まれるデータの連携と利活用が加速。顧客へのサービス価値増大に寄与すると同時に、セキュリティ上の懸念への対処も前進しています。自動化は世界各地で実証実験が実施され、日本では世界で初めて自動運転レベル 3 の型式指定がなされました。シェアリング/シェアードに関しては、コロナ禍における消費者選好の変化がカーシェアリングなどにも影響を及ぼしています。観光 MaaS

(Mobility-as-a-Service) や地域課題解決などの目的でさまざまな実証実験が行われ、オンデマンドバスなど一部サービスでは事業化の成功事例も出始めています。電動化の流れは加速し、水素社会確立に向けた動きも活発化しています。また、CASE すべてに関係する取り組みとして物流 MaaS や商用車は注目に値するでしょう。

> [全文はこちら](#) (日本語)

### 3. 人工知能の可能性を最大に引き出す

今日の組織は、重要な事業上の意思決定を行う際にアルゴリズムに基づくアプリケーションに大きく依存しています。これはチャンスへの扉を開く一方で、信頼性への疑念も生じさせます。

アルゴリズムによるガバナンスの時代へと突入するにあたり、組織は結果への信頼性を構築し人工知能 (AI) の最大限の可能性を実現するために、アルゴリズムのガバナンスについて考えなければなりません。

> [全文はこちら](#) (日本語)

### 4. デジタル経営の最前線

大きな期待と不確実性への不安が入り混じるポストコロナの時代。企業経営においては、変動の予兆や暗黙知の変異を察知し、不連続な変化を乗り越えていくためにデータドリブンな「デジタル経営」へと舵を切ろうとする動きが出始めています。では、本当の意味でデジタル経営がニューノーマルになった場合、会社経営はどのような姿になるのでしょうか？

- 透明性を高めることと不確実さを受け止めることのバランス
- GAFA はなぜ個性的な事業構造なのか？
- 経営会議は「社長ひとりで AI が 5 人」になる時代が来るかもしれない

> [全文はこちら](#) (日本語)

### <ご参考> COVID-19 対応に関する情報提供

こちらのサイトに関連情報を掲載しております。

- 携手战“疫” (中国語) [資料はこちら](#)
- Business Continuity Insights (英語) [資料はこちら](#)
- 新型コロナウイルスがビジネスに与える影響 (KPMG ジャパンサイト) [資料はこちら](#)

Wechat でも日々情報発信をしておりますので、是非ご登録頂けると幸いです。



### Contact us お問い合わせ先

GJP China Markets: [gjpmarkets.china@kpmg.com](mailto:gjpmarkets.china@kpmg.com)

Tel: [+86 \(21\) 2212 2247](tel:+86(21)22122247) (日本語)